

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		社会福祉総務事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
		項	01 社会福祉費		小分類	03 町民パワーの導入と育成	
目		01 社会福祉総務費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,752	2,686	2,736	2,662	2,759
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	51	57	40	41	19
		一般財源	2,701	2,629	2,696	2,621	2,740
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 民生委員推薦会委員へ報酬及び出席費用弁償、民生委員・児童委員へ謝礼						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 地域住民の社会福祉向上を図ることを目的とする。						
⑤	事業概要 地域の社会福祉向上を図れるよう総合的な事業であり、具体的には民生委員推薦会委員の報酬や費用弁償、民生委員・児童委員の謝礼、老人福祉関連、人口調査に関する住民登録システム電算処理委託等である。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 近年の少子高齢化や景気低迷により一人暮らし世帯や低所得世帯が増加傾向。また子育て家庭が多い二反田地区に平成25年度より民生委員児童委員の一斉改選を機に民生委員を1人増員し2名体制とした。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 町補助金交付事務取扱要領						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	民生児童委員 相談活動日数	単位：日	実績値	2,997	3,455	3,364
				目標値	0	0	0
	定義						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	地域住民の福祉向上のため、民生委員児童委員と町との協力体制は不可欠である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	町民の地域福祉の増進と安心して暮らせるには、身近に相談出来る環境があることが大変重要である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	民生委員児童委員への謝礼はH24年度から引き上げていただいたが、それ以上の活動を行っていただいている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	この事業を数値で示すことは難しいが、地域社会の安定に寄与している。

⑪	課長総括評価 合計点 48	町民の地域福祉向上のためには、不可欠な事業であり、現状のまま継続する必要がある。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		社会福祉協議会運営事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
項		01 社会福祉費	小分類		03 町民パワーの導入と育成		
	目	01 社会福祉総務費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		19,936	19,936	19,753	19,753	19,396
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	19,936	19,936	19,753	19,753	19,396
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻町社会福祉協議会・福祉団体						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 社会福祉協議会の健全な発展と社会福祉事業育成のため、人件費及び事業費等の一部を補助した。						
⑤	事業概要 ●町社会福祉協議会・本会運営に関する事業（理事会、幹事会、評議員会、支部長会議の開催）・福祉活動推進事業（住民自主活動の推進、人材育成講座の開催、ボランティアグループの育成と活動援助、広報紙等での情報提供）・福祉援護対策事業（生活安定資金、生活福祉資金の貸付援助活動）・児童、青少年健全育成事業（児童生徒の福祉ボランティア活動推進、児童遊具設備及び塗装整備支援）・老人、身障者対策事業（独居老人、高齢者二人世帯への交流活動援助、ねたきり等在宅介護者援助）・福祉関連団体育成事業						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 平成26年度は福祉団体補助金のみ計上 平成27年度は福祉団体への補助金は直接交付している。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 町補助金交付事務取扱要領						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	社会福祉法人として福祉団体、ボランティア活動の育成に努めている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	地域福祉の増進を目的に設立された団体であり、住民の福祉向上に寄与している。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 11	地域福祉の増進を目的に設立された団体であり、助成は必要であるが介護事業、委託事業等を考慮し、補助金を交付する必要がある。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	社会福祉法人として福祉団体、ボランティア活動の育成に努めている。

⑪	課長総括評価 合計点 39	地域福祉の増進を目的に設立された団体であり、住民の福祉向上に寄与している事業。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		民生児童委員協議会助成事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
項		01 社会福祉費	小分類		03 町民パワーの導入と育成		
	目	01 社会福祉総務費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		120	120	120	120	120
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	120	120	120	120	120
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
民生委員・児童委員で組織している民生委員・児童委員協議会へ助成							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
民生委員・児童委員協議会は、民生委員を組織的に支援することから活動費の一部を助成することで民生委員児童委員が円滑且つ適切に活動できるように交付する。							
⑤	事業概要						
民生委員・児童委員定例会、福祉施設の慰問、青少年の健全育成のための活動ケース検討会、各種研修会参加。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
町補助金交付事務取扱要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	活動日数	単位：日	実績値	2,997	3,455	3,364	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 13	民生委員活動は多岐にわたることから、それを組織的に支援する協議会の役割は大きく、財政的な支援は必要である。社会福祉協議会が事務局となっている市町がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	民生委員が相互に情報交換や交流で活動の質を高め、地域住民からの相談に活かしている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	協議会組織で活動することにより、委員同士の情報交換や協同活動することにより効率的である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	民生委員が相互に情報交換や交流で活動の質を高め、地域住民からの相談に活かしている。

⑪	課長総括評価 民生委員活動は多岐にわたることから、それを組織的に支援する協議会の役割は大きく、財政的な支援は必要である。 合計点 43
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		生活相談所運営事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
		項	01 社会福祉費		小分類	03 町民パワーの導入と育成	
目		02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
総事業費（千円）			29	21	29	21	29
財源 内訳	国県支出金		0	0	0	0	0
	その他特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		29	21	29	21	29
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
心配ごとや生活の向上に必要な相談をしたい町民							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
地域住民の日常生活における心配ごとや生活の向上に関する相談に応じ適切な助言指導を行う。							
⑤	事業概要						
町社会福祉協議会に委託しており、町保健福祉センターで生活相談員等が対応する。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
相談件数は少ない状態であるが心配ごとのある方にとっては必要な事業である。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	相談件数	単位：件	実績値	33	20	34	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	相談件数	単位：件	実績値	33	20	34	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町が実施していたが、平成18年度から補助金廃止により町社協に委託している。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	年度ごとの相談件数にばらつきがあるが、身近な所で相談できる事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	生活の相談に関することで他に類似する事業がない。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	相談件数は少ない状態であるが心配ごとのある方にとっては必要な事業である。

⑪	課長総括評価 生活の向上を考えている方や心配ごとのある方にとっては必要な事業である。
合計点 50	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	